

備前市施策評価シート

施策名 (小項目)	環境保全	コード	作成者	役職	環境課長
		01-02-01		氏名	森本和成
			電話	0869-64-1821・1822	
			このシート作成に要した時間	2.0 時間	

この施策のアピールポイント	この施策は、市民が健康で文化的な生活を確保するために欠くことのできない施策であり、地球温暖化対策にも貢献している。
---------------	---

この施策の平成24年度の施政方針	環境保全についてであります。市民の健康で文化的な生活を確保するため、引続き、大気・水質の環境測定、自動車騒音常時監視や粉じん問題対策及び休廃止鉱山の鉱害対策を行い、安心して暮らせる環境の保全に努めてまいります。また、地球温暖化防止の普及啓発の取組として、エコハウスの活用や、住宅用の太陽光発電システム設置に対する補助制度などにより、市民の関心を高め、環境にやさしいまちづくりに努めてまいります。
------------------	---

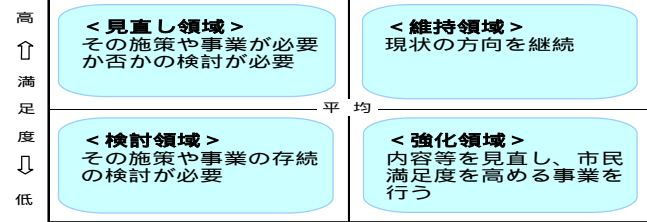
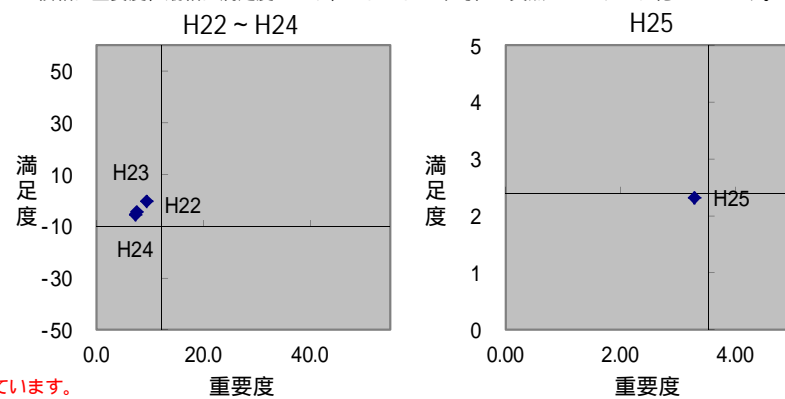
< 備前市総合計画の内容から記載する >

政策の体系	基本目標(大項目)	01安全で快適に暮らせるまちづくり
	基本施策(中項目)	02自然と共生するまちづくり
対象と目的 (誰のために、何のために)	大気汚染、水質汚濁、騒音、振動などの環境問題の影響を受ける市民に対し、大気や水質の調査測定を行い公表することにより、市民の生活環境の保全と健康の保護を図る。	
現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	大量生産・大量消費・大量廃棄型社会による環境破壊は、大気汚染、水質汚濁、酸性雨、地球温暖化現象、オゾン層の破壊といった現象として現れている。これら環境問題に取り組むには市民一人ひとりの日常生活や事業者の事業活動の中で、それぞれが環境に対する責任と役割を理解し、資源やエネルギーの効率的な利用による循環型社会の構築や自然環境の保全が重要となっている。	
施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 大気汚染の防止 水質汚濁の防止 騒音・振動の防止 地球温暖化対策の推進 	

市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H22	H23	H24	H25
重要度(%)	7.5	7.3	9.4	3.29
満足度(%)	- 4.3	- 5.5	- 0.3	2.32

横軸に重要度、縦軸に満足度をとり、それぞれの平均値を交点としてグラフ化しています。



H25から数値の採取方法を変更したため、別グラフで表示しています。

調査結果に対するコメント、市民の反応等	環境保全対策の推進は、重要度も満足度ともに平均を下回っている。大気汚染、水質汚濁、騒音・振動といった公害問題についての苦情、問い合わせが、引き続き寄せられている。今後も、市民意識の向上を図るとともに、環境の保全や改善に向けた取組みを行っていく必要がある。
調査対象でない施策は、市民の反応等	

施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H22	H23	H24			H25	H28
成果指標 地球温暖化防止のための行動に取り組んでいる市民の割合	目標	%	50.0	50.0	50.0	市民意識調査結果	H25	50.0
	実績	%	46.0	38.0	27.4		H28	50.0
	達成率	%	92.0	76.0	54.8		-	-
	ベンチマーク						-	-
参考指標 騒音、大気汚染などの公害に悩まされている市民の割合	目標	%	20	20		市民意識調査結果	H25	
	実績	%	19	22			H28	
	達成率	%	106.4	90.1			-	-
	ベンチマーク						-	-
参考指標	目標						H25	
	実績						H28	
	達成率	%					-	-
	ベンチマーク						-	-
参考指標	目標						H25	
	実績						H28	
	達成率	%					-	-
	ベンチマーク						-	-

目標達成に必要な新規事業(裏面 施策構成事務事業以外の事業)及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
備前市	野谷坑廃水処理場改修事業	老朽化している処理場を改修し、施設を自動化することにより、水質改善を図る。

施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い	
		判断理由(なぜ、そのランクと評価したのか)	
1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか?	3	市民の生活環境の保全と健康の保護を守る事業で、市の関与は妥当である。	
2 <事業構成の適当性> 手段は最適か?	3	環境保全対策事業として妥当である。	
3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	4	市民意識調査結果(騒音、大気汚染などの公害に悩まされている市民の割合)では、ある程度成果が現れており、有効な施策である。	
進行年度(H25年度)の取組内容(課題解決状況)		地球温暖化防止対策の一環として、クリーンエネルギーを活用した施策展開に取り組む必要がある。休廃止鉱山鉱害防止事業の水質安定のための取り組みと野谷坑水処理場の更新を視野に入れた修繕工事等をする必要がある。	
翌年度(H26年度)の取組目標		クリーンエネルギーの普及啓発に向けた取り組みをする必要がある。	
二次評価者コメント		市民の住環境に影響を及ぼす公害、生活環境の安定には、欠かすことができない施策である。官民一体で環境の保全や改善に向けて取り組んでいく必要がある。また、クリーンエネルギーの普及啓発に関して、新たな施策展開が必要である。	基本施策への貢献度 4 やや高い
役職 氏名	市民生活部長 野上 茂之		

施策構成事務事業の評価

施策を構成する 事務事業	細事業	事業 分類	事業費等（単位：千円，人）											施策への 貢献度
			平成22年度			平成23年度			平成24年度			平成25年度		
			直 接 事業費	人件費	人工数	直 接 事業費	人件費	人工数	直 接 事業費	人件費	人工数	当初予算		
1 大気汚染防止事業	大気環境測定局維持管理事業	単市	3,336	455	0.05	2,659	238	0.03	6,314	424	0.05	8,499		
	大気汚染監視事業	単市	2,729	328	0.04	2,659	238	0.03	45	913	0.11	61		
	測定機器整備事業	単市	0	42	0.01	0	0	0.00	1,113	79	0.01	1,498		
	環境改善施設等整備助成事業	単市	7,192	466	0.06	0	159	0.02	0	159	0.02	0	* H22終了	
	届出受付事務	単市	0	16	0.01	0	0	0.00	0	0	0.00	0		
	苦情処理事務	単市	0	1,124	0.13	0	667	0.08	0	626	0.07	0		
2 休廃止鉱山鉱害防止事業	坑廃水処理事業	補助	53,122	29,584	4.19	76,950	35,690	6.10	51,013	38,757	7.33	42,506		
3 水質汚濁防止事業	水質調査測定事業	単市	1,412	585	0.07	1,376	886	0.11	1,398	768	0.09	1,787		
	測定機器整備事業	単市	0	63	0.01	0	0	0.00	0	0	0.00	0		
	岡山三川水質汚濁防止協議会負担事務	単市	0	21	0.01	0	0	0.00	0	0	0.00	0		
	金剛川浄化対策協議会運営事務	単市	1,154	2,681	0.29	790	826	0.10	790	1,205	0.14	790		
	苦情処理事務	単市	8	954	0.10	0	1,366	0.16	0	706	0.08	0		
4 騒音・振動・悪臭対策事業	届出受付事務	単市	0	263	0.03	0	238	0.03	0	172	0.02	0		
	規制地域の指定、規制基準の設定（騒音・振動・悪臭）	単市							0	662	0.08	0		
	苦情処理事務	単市	0	174	0.02	0	163	0.02	0	331	0.04	0		
5 地球温暖化防止対策事業	地球温暖化防止対策事業	補助	6,784	2,091	0.25	1,755	3,004	0.37	3,240	6,931	0.72	1,441		
	エコハウス管理事業	単市	3,518	1,366	0.17	3,401	1,300	0.16	3,468	1,209	0.14	1,542		
6 スマートコミュニティ構想普及事業	スマートコミュニティ構想普及事業	補助				7,572	2,589	0.31	0	4,107	0.39	0		
7 自然エネルギー調査等事業	自然エネルギー調査等事業	単市							0	1,156	0.11	0		
この施策に費やした資源（単位：千円，人）			平成22年度			平成23年度			平成24年度			平成25年度		
			79,255	40,213	5.44	97,162	47,364	7.52	67,381	58,205	9.40	58,124		